

別紙様式 1

令和 8 年度仁方中学校区研究推進計画

校番 (1) 呉市立仁方小学校

校長名 木村 智子

1 学校教育目標

「自ら学び 心豊かな児童生徒の育成」

2 目指す児童生徒像

仁方中学校 「守・破・離」の精神を貫く生徒
 ～型を基盤に、自分の個性を発揮し、生き方を自己選択・自己決定し、自律する～

- 仁方小学校
- ① にこにこ笑顔で元気にあいさつ・返事をする
 - ② 進んで、学習と生活をつなぎ、最後までやりぬく
 - ③ 高学年を中心に、たすけ合って、主体的に活動する

3 育成を目指す資質・能力（具体の姿）

資質・能力 設定した	知識及び 技能	思考力、判断力、表現力等	学びに向かう力、人間性等	
	知識・技能	思考力・判断力・表現力	主体性・協働性	規範意識・公德心
後期		<ul style="list-style-type: none"> ○ひと・もの・ことの中から問題を見出し、解決方法を考え、計画を立てて実行し、最適解を導き、次の問題発見・解決につなげている。 ○精査した情報をもとに、自分の見方・考え方を、相手や目的に応じて、論理的・効果的に伝え合っている。 	<ul style="list-style-type: none"> ○習得した知識や技能を活用し、目的意識をもって、積極的に課題を解決しようとしている。 ○よりよい生活や人間関係を自主的に形成し、課題解決に向け、多様な考えを尊重し、互いの良さを生かして協働している。 	<ul style="list-style-type: none"> ○規律ある安定した社会の実現に向け、自己の感情や行動を統制し、自分の思考や行動を客観的に把握し、認識し、(社会生活の中で)守るべき正しい姿を大切にしている。
中期	発達段階に応じて、児童生徒が基本的な知識や技能を確実に習得し、進級している。	<ul style="list-style-type: none"> ○ひと・もの・ことの中から問題を見出し、解決方法を考え、実行し、試行錯誤して、最適解を導き、次の問題発見・解決につなげている。 ○自分の見方・考え方を、相手や目的に応じて、分かりやすくまとめて表現し、伝え合っている。 	<ul style="list-style-type: none"> ○習得した知識や技能を活用し、自ら課題を解決しようとしている。 ○課題のよりよい解決に向け、他者の考えを尊重し、協働している。 	<ul style="list-style-type: none"> ○よりよい社会の実現に向け、自己の感情や行動を振り返り、守るべき正しい姿を大切にしている。
前期		<ul style="list-style-type: none"> ○ひと・もの・ことの中から問題を見出し、解決方法を考え、実行し、次の問題発見・解決につなげている。 ○自分の見方・考え方を、相手や目的に応じて、分かりやすく伝え合っている。 	<ul style="list-style-type: none"> ○習得した知識や技能を活用し、進んで課題を解決しようとしている。 ○課題解決に向け、他者と協働している。 	<ul style="list-style-type: none"> ○約束や社会のきまりの意義を理解しそれらを守ったり、公共物や公共の場所を大切にしたりしている。

4 研究主題等

(1) 研究主題

主体的に学び、思考力・判断力・表現力を身に付けた児童生徒の育成
 ～生活をよりよくしようと、自分の考えを表現する力を培う指導・支援～

(2) 設定理由（校区の児童生徒の課題分析等）

- 本中学校区は、研究主題である「主体的に学ぶ姿」を、「知識及び技能を獲得したり、思考力・判断力・表現力等を身に付けたりすることに向けた粘り強い取組を行おうとする」とともに、自らの学習を調整しようとする姿」ととらえ、一昨年度より「生活をよりよくするため」の問題や課題を設定し、自分事として考える機会を増やし、考えを深め、表現させることに取り組んできた。昨年度の検証の結果及び各種アンケートの結果は下表のとおりである。

【表1 令和7年度仁方中学校区研究推進計画に基づく検証結果】

検証の視点	方法	検証の指標	現状値 (R7 始め)	達成目標	R7 1 2 月
①主体的に学ぶ姿が見られたか。	児童生徒アンケート	児童生徒及び教職員の評価の平均（4段階評価） ・「なぜだろう」「やってみよう」など、意欲をもって授業に取り組んでいます。 ・根拠・理由をつけて、自分の考えや思いを相手に分かりやすく表現しようとしています。 ・授業で学んだことを、自分の生活と結びつけて考えようとしています。	小学校 3.4	3.6以上	小学校 3.4
			中学校 3.4		中学校 3.5
	教師アンケート		小学校 2.6		小学校 3.1
			中学校 2.8		中学校 3.4
②生活と関連付けた授業を行うことで、児童生徒の思考力・判断力・表現力が身に付き、学力が向上したか。	学力調査 (国語、算数・数学)	全国平均との差	<小学校> 国語 +3.1 算数 +6.3	全国平均との差 小学校+5 中学校+2	<小学校> 国語 -2.3 算数 -2.4
			<中学校 1年生> 国語 +2.9 数学 -3.0		<中学校 1年生> 国語 -0.8 数学 -2.6
	小学校標準学力調査		<中学校 2年生> 国語 +6.4 数学 +7.9		<中学校 2年生> 国語 +0.2 数学 -4.3
			中学校学力向上TSP		
教師アンケート	教職員の評価の平均（4段階評価）	小学校 2.7	3以上	小学校 3.2	
		中学校 2.8		中学校 3.5	

【表2 令和7年度 児童生徒アンケートまとめ】

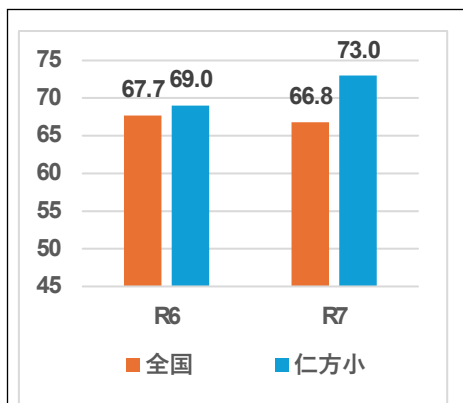
質問項目	小学校				中学校			
	R74月	R77月	R79月	R712月	R74月	R77月	R79月	R712月
「なぜだろう」「やってみよう」など、意欲をもって授業に取り組んでいる。	3.60	3.60	3.51	3.47	3.39	3.45	3.39	3.52
根拠・理由をつけて、自分の考えや思いを相手に分かりやすく表現しようとしている。	3.15	3.13	3.03	3.08	3.25	3.29	3.30	3.37
授業で学んだことを、自分の生活と結び付けて考えようとしている。	3.52	3.40	3.38	3.51	3.34	3.51	3.39	3.51

【表3 令和7年度 教職員アンケートまとめ】

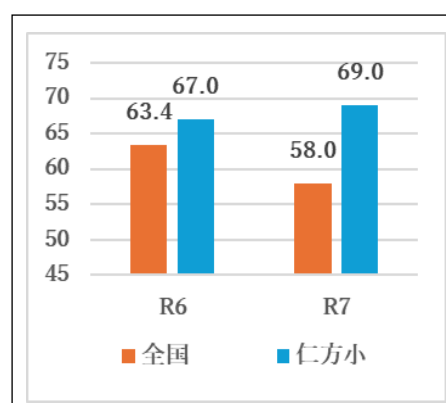
質問項目	小学校				中学校			
	R74月	R77月	R79月	R712月	R74月	R77月	R79月	R712月
生活と関連付けた授業を行うことで、児童生徒の思考力・判断力・表現力が身に付いたと思うか。	2.67	2.93	3.13	3.19	2.81	2.8	3.17	3.53
「なぜだろう」「やってみよう」など、意欲をもって授業に取り組んでいる。	2.73	2.93	3.07	3.19	3.06	3.40	3.12	3.53
根拠・理由をつけて、自分の考えや思いを相手に分かりやすく表現しようとしている。	2.73	3.13	2.87	3.06	2.81	3.10	3.06	3.33
授業で学んだことを、自分の生活と結び付けて考えようとしている。	2.40	2.93	3.00	2.94	2.56	3.00	3.29	3.35

【表4 令和7年度 全国学力・学習状況調査（平均正答率）】

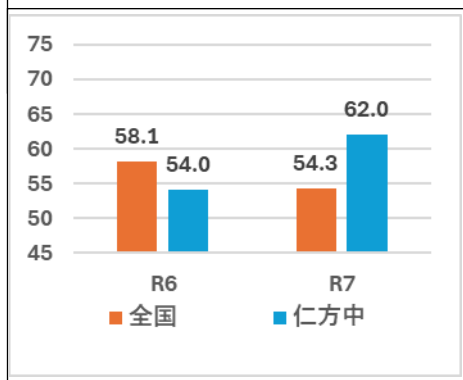
小学校 国語



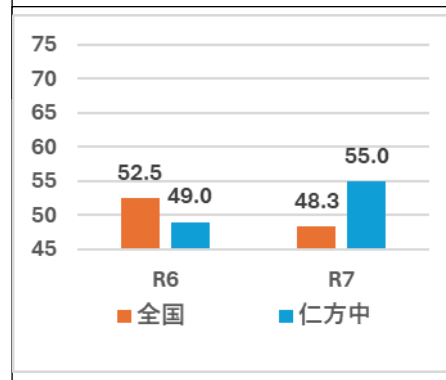
小学校 算数



中学校 国語



中学校 数学



これらの結果から、成果として挙げられることは、次の5点である。

- ①教職員が意識して生活場面と結び付けた教材開発を行ったり、発問や表現方法を工夫したりすることで、教師の授業改善の意識が高まったこと。
- ②児童生徒の意欲的に授業に取り組む姿勢や、学習内容を生活場面とつなげて考える主体的な姿が見られたこと。
- ③児童生徒が目的や相手を意識した表現ができるようになったこと。
- ④指導案検討会や授業後の協議会において、教科・学年を越えて活発な協議が行われたこと。
- ⑤全国学力・学習状況調査においても、平均正答率を上回っている。

課題として挙げられることは次の3点である。

- ①学習内容をいかに生活に結び付けるか、児童生徒の意欲関心を高めるかにおける単元開発や教材開発には時間がかかること
- ②児童生徒に、学習内容が生活と結び付いていることを実感させ、学力向上につなげるには、長いスパンが必要であること。
- ③思考力・判断力・表現力を高めるため取り組んでも、基礎学力の定着が弱く、学力の向上に大きな変化が見られないという「行き詰まり感」を多くの教職員が感じており、思考力・判断力・表現力の向上を支えるための基礎・基本の学力を身に付けさせるための手立てが必要である。

今後に向けて考えられることとして、次の3点が挙げられる。

- ①9年間の学びのつながりを見据え、各教科等間の関連を図ることで、より深い学びにつなげる
- ②教師が、生活場面や他教科等と関連を図った単元開発や教材開発をさらに進めることで、児童生徒が学習と生活を結び付け、学ぶ意義を実感できるようにすること。
- ③児童生徒一人一人の生活経験や実態を丁寧に見取った上で、さらに個に応じた支援を行う必要があること。

そこで今年度は、学びの主体性を喚起するため、昨年度から引き続き、生活場面や他教科等との関連を図った単元開発や教材開発を進めていく。また、児童生徒が思考力・判断力・表現力を身に付けるための土台となる基礎・基本の力を高めるための工夫を取り入れながら、「生活をよりよくするため」の視点での授業づくりを推進することとした。そのために、部会を「授業づくり部会」と「学びのつながり部会」に編成しなおし、日々の授業づくりの取組だけでなく、小学校1年生から中学校3年生までの9年間の学びのつながりを意識した指導が行えるようにしていきたい。

これらの取組によって育成された力は、10年後・20年後の未来を生きる児童生徒の資質・能力の育成につながっていると考え、次のような研究仮説を立て取り組んでいくこととする。

(3) 研究仮説

生活場面と結び付けた単元開発や教材開発を行えば、児童生徒が主体的に学習に取り組むことができるだろう。そして、児童生徒が基礎・基本を身に付け、思考を深め学びをつなぐための手立てを行えば、思考力・判断力・表現力が高まるだろう。

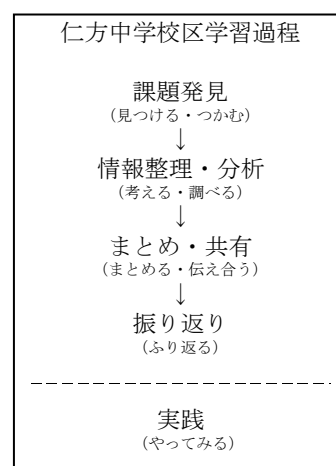
5 研究内容

(1) 学びの主体性の喚起

- ①生活場面や他教科等との関連を図った単元開発
(仁方中学校区 学習過程)
- ②児童生徒にとって身近な事象や生活場面からの教材開発

(2) 思考力・判断力・表現力を高めるための手立て

- ①つまづきに応じた支援の工夫
- ②思考を促す工夫
- ③学びをつなぐ振り返りの工夫

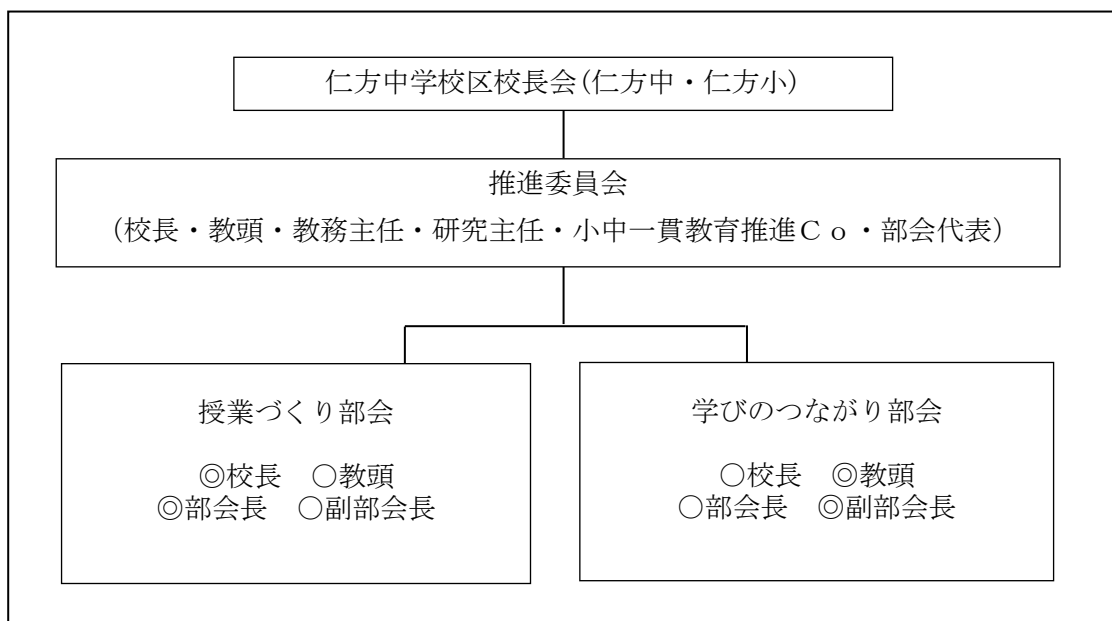


6 検証について

検証の視点	方法	検証の指標	現状値	達成目標	
①主体的に学ぶ姿が見られたか。	児童生徒アンケート	児童生徒及び教職員の評価の平均 (4段階評価) ・「なぜだろう」「やってみよう」など、意欲をもって授業に取り組んでいます。 ・根拠・理由をつけて、自分の考えや思いを相手に分かりやすく表現しようとしています。 ・授業で学んだことを、自分の生活と結びつけて考えようとしています。	小学校 3.7	3.6以上	
			中学校 3.5		
	教師アンケート		小学校 3.7		
			中学校 3.4		
②思考力・判断力・表現力を高めるための手立ては有効であったか。	学力調査 (国語、算数・数学)	全国平均との差	<小学校> 国語 -1.9 算数 -2.4	全国平均との差 小学校+1 中学校+2	
			中学校 <中学校1年生> 国語 -0.8 数学 -2.6 <中学校2年生> 国語 +0.2 数学 -4.3		
	小学校 標準学力調査 市販テスト	<小学校> 40%未満の割合 <中学校> 30%未満の割合	小学校 4%		0%
			中学校 学力向上TSP		

7 推進体制等

(1) 推進組織



※◎は幹事校が担当する（令和8年度は○中学校、◎小学校）

※研究授業年間2本（小学校1本 中学校1本）

- ※授業づくり部会・・・授業づくりそのものについての取組を行う。
- ・指導案検討・指導案の書き方・研究授業の観点
 - ・授業参観シートの見直し
 - ・特別支援の観点を元にした授業づくり
 - ・個別最適な学びと協働的な学びの一体的な充実

- ※学びのつながり部会・・・生徒指導や学年に応じた基礎基本についての取組を行う。
- ・生徒指導の4機能の観点を生かした授業づくり
 - ・生徒指導規程・授業のルール（N中メソッド）の共有・徹底
 - ・教科におけるつまずきの原因の分析
 - ・学年に応じた「これだけはマスターしよう」の作成
 - ・基礎・基本の定着のための取組の徹底
 - ・読書活動や新聞を活用した取組による知識の習得
 - ・家庭学習の更なる充実及び保護者啓発
 - ・個別最適な学びと協働的な学びの一体的な充実

- ※年間通した研修・・・スクールカウンセラーによる合同研修（8月）
- ・特別支援教育の立場から児童生徒への対応の仕方や授業づくり研修

(2) 一部教科担任制実施計画

ア 乗り入れ授業等

(中→小) 2学期：保健体育科 9月～10月

イ 小学校教科担任制等

第4・5・6学年（理科）

第4・5・6学年（音楽）

第3学年（書写）

(3) 異年齢交流

中学1年生－小学2年生（絵本会）（1学期実施予定）

中学2年生－小学6年生（オープンスクール）（2月実施予定）

8 推進計画

日付	内容	
	仁方中学校	仁方小学校
4月	2日	研修計画（研究主題、研究仮説、研究内容の詳細立案、教育研究会に向けて）
	24日	第1回推進委員会（研修計画、第1回小中合同研修、教育研究会に向けての確認）
	27日	第1回小中合同研修（各部会での協議、理論研修）・第2回推進委員会
		意識調査・全国学力テストの実施（4月中までに（年度初め））
5月		ブロック授業研究
6月		第2回小中合同研修（研究授業・研究協議）第3回推進委員会
		意識調査・学力テストの結果分析、成果と課題（1学期）
8月		第3回小中合同研修（スクールカウンセラー研修）・第4回推進委員会
		学力補充の取組についての振り返りと改善計画
9月		学力調査の結果を受けての改善研修
10月		第4回小中合同研修（研究授業・研究協議）第5回推進委員会
12月		意識調査・単元末テストの結果分析、成果と課題（2学期）
		標準学力調査（年度末）及び次年度の学力調査に向けての検討
1月		第6回推進委員会
2月		第5回小中合同研修（今年度のまとめ・次年度に向けて）・第7回推進委員会
		標準学力調査の結果分析、意識調査・単元末テストの結果、来年度の計画

9 その他

- ・地域合同挨拶運動
- ・小中一貫だより（年2回 発行予定）【令和8年度は12月が小学校、3月が中学校】
- ・研究構想図及びカリキュラムマップは別紙